

しきゆたか速報 No.5

多収米 生育調査

福井県多収米部会

福井県内ナンバーワン単収を誇る 超多収性品種!!

令和4年 6月23日

●圃場に応じた中干し実践！品質低下防止のため過剰な中干しは厳禁！！

1. JA生育調査状況（6月22日現在）

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	R4	5月3日	48.6	630.0	—	4.6
	R3	5月2日	47.7	465	9.0	4.5
直播	R4	5月5日	38.1	518.1	—	4.3
	R3	5月5日	44.2	590.7	—	4.4

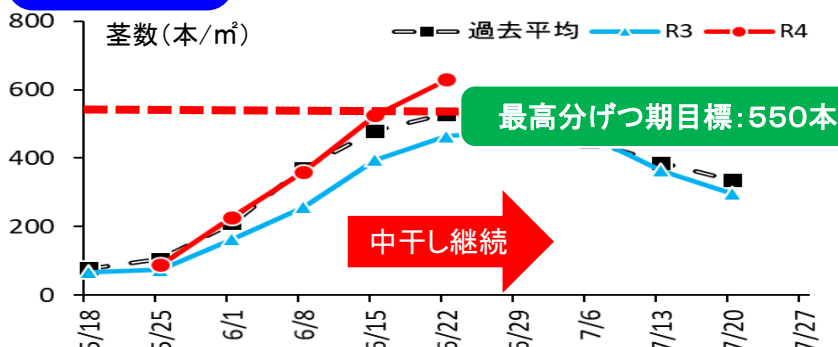
6月14日から北陸地方は梅雨入りをし、平年と比べ3日遅く、先週と引き続き、不安定な天候が続きますので、気象状況を常に把握し、適切な水管理に努めてください。

しきゆたかの栽培管理ポイント

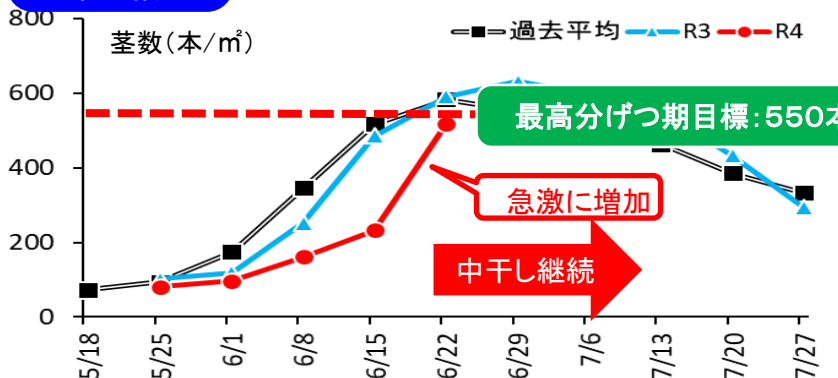
今週は、曇天の日が続く予想です。いもち病や紋枯病が発生しやすい時期ですので、日々稲体の状況を確認しましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理

移植



直播



移植・直播

現在、地区平均で有効茎数320本/㎡を超えています。分げつ過剰分のため、強めの中干しを実施しましょう。雑草が多く出てきている圃場は中後期剤の散布を行いましょう。

【中干の程度】

幼穂形成期直前(7月上旬)まで。圃場の状況に応じて実施。過剰な中干しは根を傷め、胴割粒、乳白粒の発生を助長しますので適度な中干しを。

雑草対策

- イネ科(ヒエ): クリンチャー粒剤(湛水散布)
- トコメMF粒剤(湛水散布)
- 広葉雑草: パサグラン(落水散布)
- ヒエ+広葉雑草: ヒエクリーンパサグラン粒剤(浅く湛水して散布)

3. 中干し後の水管理

幼穂形成期までは中干しを継続し過剰分げつ防止に努めましょう。

7月上旬(幼穂形成期)以降は...

- 入水: 水位: 3程度 ● この水管理の繰り返し

間断通水で多収穫!!

渴かし過ぎないように!!

自然落水

自然落水

7月2日・3日は
畦畔草刈り実践デー



適期管理で収量アップを目指しましょう。今週のしきゆたか速報は『中央支店』が担当しました。